



「よしたい」

白峰の言葉で「よしたい」とは「良くしたい、ありがとう」の意味。
ここに訪れた方たちに心から感謝すると共に、
ここで過ごす時間が皆様にとってより良いものになりますように。

Shiramine Concept Book

白峰 コンセプトブック

白峰にとまる

発行：株式会社YOSITAI

Shiramine Concept Book | 白峰 コンセプトブック

白峰にとまる



白峰の食



焼酎で収穫される大根。煮生
は梨のように瑞々しく、煮
るとなめ
らかな食
感。数が
少ないた
め今では
貴重。



昔、桶の実は救荒
食であったが、手
間と技で美味しく
加工され、現在は
地域内外に愛され
る特産品。



堅豆腐

大豆の量が多く、
旨み強い保存
に適した地域の
名品。刺身から
湯豆腐まで。



おろしうどん

乾麺と大根と醬
油で作るうどん。
夜食や間食とし
て地域で食
べられている。



ニシン漬け

ニシンと大根の
漬物。冬のご重
なタンパク源。
塩のみで、1ヶ月
以上漬け込む。



山菜

厳しい冬を越え
た春のご馳走。
塩漬けや乾燥で
保存し、年中食
べ続ける。



天然キノコ

奥山の秋の幸。
白峰の人々は特
に舞茸が大好き
で、毎年楽しみに
している。



焼き畑

出作りの生活を支
える自然農法。山
の木々を焼き、斜
面を利用しながら
ヒエ・アワ等の主
穀や豆、大根等を
栽培。



わさび田栽培

白山麓の奥山で
営まれる。澄ん
だ水で育ったわ
さびは甘みがあり
、上品な辛さ
がある。



炭焼き

出作りの生業の
一つであった。
自分で窯を作り
、木々を集め炭
を焼いていた。



方言

言語島とも呼ば
れる白峰地域。加
賀地方や越前地方
とも異なる独特
の言葉が今も残
る。



牛首袖

日本三大袖の1つ。
養蚕集落であ
った象徴。柔らか
い着心地であり
ながらも、強く丈
夫。



山の恵み探し

奥山の豊かな恵
みは、そこに住
む人々の知恵と
技で食べ物に
なり、生活道具
や薬などにも
活用される。



積雪

時には4mを超
える積雪が見
られ、かつては
険しい山道も
雪が降り、住
民が通行しな
い。冬は原風景
のひととき。



ミソギ

町中に流れる
水。水道が整
備されるまで
は、食事や洗
濯などに使用
されており、生
活に欠かせな
かった。

白山と生きる

白山奥山人
日本三霊山の1つ
である霊峰白山。
山の登山口にも
近い集落。水田も
ない山間の傾斜地。
積雪等の厳しい自
然環境であったが、
白山の恵みを活か
した食文化や、助
け合いながら暮ら
す生活文化。山や自然
に感謝する自然信
仰等の精神文化が
継承されている。



白峰あれこれ

なんだか、気になるものだらけ

一報恩講料理

仏教行事であり、
全国で見られるが、
白峰では白山の恵
みが豊かであること
が、種類や量が豊富。
自然への感謝や地
域住民の感謝を伝
える側面も持ち、食
べ継がれる伝統食。



一ななぎ大根

焼酎で収穫され
る大根。煮生
は梨のように瑞
々しく、煮ると
なめらかな食
感。数が少ない
ため今では貴重。



一トチモチ

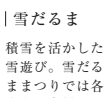
昔、桶の実が救
荒食であったが、
手間と技でしく
加工され、現在
は地域内外に愛
される特産品。

白峰の行事・生活



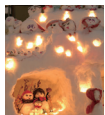
白山まつり

夏の白山まつり
は、祭神大
師が白山を
開山したと
する。祭神
を祀るもの
として、か
こ踊りの輪
踊り、白
みこし、延
命水山台
曳きなど、
民謡が囃
される。町
には民謡
の文化が
色濃く伝
承されている。



雪だるま

積雪を活かした
雪遊び。雪だ
るままつり
では各家庭
の雪だるま
が展示。



放棄相撲

八坂神社の秋祭
りに伴い、毎年
9月に境内で
行われる奉納
相撲。子ども
も参加し、強
者にしこ名
が与えられる。



一町並み

重要伝統的建
造物群保存地
に指定され、
養蚕集落の
面影を残す町
並み。密集し
たため、散
策に最適。



酒宴

濃厚な酒らしい
酒が好き。住
民の親睦を深
める重要な場。

登りたくなるハシゴ。
熊さん入りましたの看板。
酒飲まんのか？そりゃたあんだ、ジゲの子じゃねえなあ。
転がる一升瓶。
手伝ってくれたりくれなかったり。
ケラケラお母さんが笑ってる。
ミンジャの音。
秋の宝石。雪のお化け。
頭の上が白くなっていく。
寒い、けど、とにかく温かい。
なんだあ、これで良いのか。

